「防災船着場整備によるかわまちづくり(東京都等)

ちゅうおうく ぶんきょうく たいとうく すみだく こうとうく しながわく きたく あらかわく あだちく かつしかく えどがわく 市町村名:東京都中央区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、北区、荒川区、足立区、葛飾区、江戸川区 あらかわすいけいすみだがわ かんだがわ きたじゅっけんがわ おなぎがわ とねがわすいけいしんなかがわ なかがわ きゅうえどがわ どくりつすいけいめぐろがわ 対象河川: 荒川水系隅田川・神田川・北十間川・小名木川、利根川水系新中川・中川・旧江戸川、独立水系目黒川、かさいかいがん 葛西海岸

1. 概要

平成7年1月の阪神・淡路大震災を契機に災害時における河川舟運の有効性が注目され、災害により寸断された陸上交通網の保管や物資輸送等の道路負担の軽減等について河川に大きな期待が寄せられたことを背景に、平成11年6月に「防災船着場整備計画」を策定し、防災船着場に関する整備を進めてきた。

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に、震災時における防災船着場の機能確保や新たな防災船着場の整備の必要性等について検討を行い、防災船着場整備計画について改定を行った。

【主な改定点】

- 1) 都及び区、国の計画を考慮した新たな防災船着場を追加
- 2) 各防災船着場の照明やサイン、スロープ等の現状及び機能確保についての項目を追加

今後、改定した防災船着場整備計画に基づき、災害時において河川舟運が有効に機能を果たすため、防災船着場及び付帯施設の整備を推進していく。

2. 整備内容

防災船着き場、避難誘導標識等 (都・区)



「旭川かわまちづくり」(国土交通省、岡山市)

1. 概要

旭川水系旭川の古京箇所は、岡山市の中心部に位置し、日本三名園のひとつである岡山後楽園や岡山城、県立美術館など歴史的文化施設が集中している岡山カルチャーゾーンと呼ばれている地域にある。当該箇所には、地域に親しまれている「旭川さくらみち」の桜が堤防に多数存在しているが、「旭川さくらみち」の桜は、樹齢が50年を超え衰弱や老木化により植え替えが必要な桜が存在する。

本計画では、今後も継続的に桜の植え替え等が可能となるよう植樹基準に適合した護岸整備を行うとともに、その上流の堤防整備も行い、「旭川さくらみち」全区間で桜の植替え等を可能にする。

また「旭川さくらみち」の整備と併せて旭川に面した烏城公園の一部(石山公園)をリニューアル整備し、この地域一帯で四季を通じて水とみどりを感じる空間整備を行うことにより地域住民の散策や憩いの場所とするとともに、旭川河畔での市民活動の場として積極的に活用し、市民が日常的に川に関わる機会を創出する。

計画変更により「旭川さくらみち」整備区間を延伸するとともに、計画期間を平成29年度までとする。

2. 整備内容



「出羽川かわまちづくり」(島根県、営南町)

おおなんちょう

市町村名:島根県 邑南町 ごうのかわすいけい いずわがわ 対象河川:江の川水系 出羽川

1. 概要

出羽川流域は市街地区間においても特別天然記念物オオサンショウウオが生息するなど、豊かな自然と人が共存している。この恵まれた環境を保護し、学習の場として有効に活用していく中で、ハンザケ(オオサンショウウオ)自然館や河川の整備を進めている。また清流を活かし、商店街と自治会が連携して開催するアユ釣り、ほたるまつり、灯篭流し等の河川利用も多い。

河川改修の進捗にあわせ、地元住民の水辺活用のニーズは一段と高まっており、水辺利用を促進するため河床材料に合わせた護岸形状(石張、ワンドや池)への変更、及び教育委員会と連携したオオサンショウウオ産卵用巣穴の設置等、護岸計画の変更を行う。

計画変更により、川を利用した賑わいの創出及び子供の河川学習の機会増加を図る。

2. 整備内容

巨石積護岸、緩傾斜階段、散策路舗装等 (県)

トイレ、駐車場、ベンチ等(町)

